

多文化共生のまちづくり

■ 問合せ先
企画課企画調整係 内線241

甘楽町には1月末日現在、186人の外国人が暮らしており、町の全人口の1.4%を占めます。

このうちの約4割がベトナム国籍、次いで中国、フィリピンの順です。

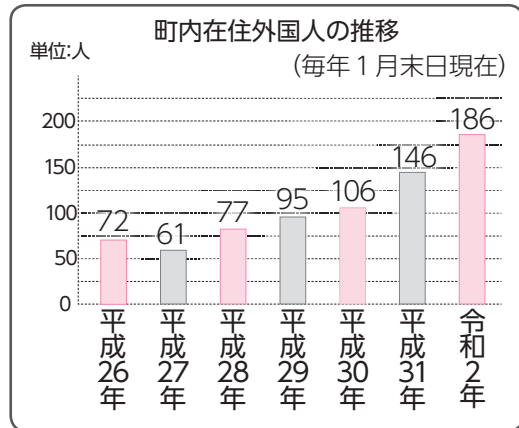
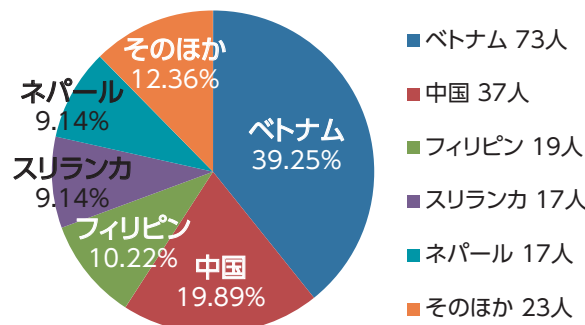
多くの外国人材が町内に在住・在勤し、企業や地域にとっては、なくてはならない存在となっております。全ての町民が安心して快適に暮らすためには、外国人が日本の文化やルールを理解するだけでなく、日本人も外国の文化を理解し、互いに力を合わせていくことが大切です。

町では、(公財)甘楽町国際交流振興協会と協力し、異文化理解促進と多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。

多文化共生とは？

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省『多文化共生の推進に関する研究会報告書』(2006年3月)より)

町内在住外国人の国籍・地域別内訳



国際交流振興協会の取り組み

(公財)甘楽町国際交流振興協会は、甘楽町を中心に国際交流活動や国際協力活動、地域における多文化共生を推進し、相互理解や友好親善に貢献することを目的として活動しています。今年度から外国人労働者を町民として受け入れ支援する「多文化共生事業」をスタートしました。



(公財)甘楽町国際交流振興協会
理事長 長岡昭宏さん(造石)



いつも国際交流事業にご協力ありがとうございます。今、多くの外国人が町内企業で就労し、重要な労働力になっています。

町では、町民と外国人が互いの文化やルールを理解し安心して生活できる町づくりに取り組んでいます。皆様のご支援、ご協力をお願いします。

講座やイベント体験

町内在住・在勤の外国人労働者と町民との交流機会の拡充を図り、暮らしやすい町の実現を目指して、外国人が日本語や日本文化、生活のルールを学ぶ支援を行っています。

● はたらくための日本語講座

仕事をするうえで必要となる基本的なコミュニケーション力を課題達成型のテキストを使用して学び、課題を通じて、ビジネスコミュニケーション上のマナーやルールなどを学習します。

● 生活に役立つ基本講座

ごみの出し方や分別方法、交通事故に遭わないための基本的な交通ルールやマナー、犯罪を起こさない、巻き込まれないための基礎知識などを学びます。

● イベント体験

町で行われるイベントに参加して、日本の文化に親しみ、町民との交流を深めます。事前に申し込みが必要なイベントもありますので、お問合せください。

「はたらくための日本語講座で日本語を学ぶ外国人労働者」



3言語(英語・中国語・ベトナム語)対応「ごみの分け方・出し方」パンフレットは住民課環境係で配布しています

講座名	期日	時間	会場	内容	講師・協力者
はたらくための日本語講座 (随時開催)	2月16日(日)	午前10時~正午	ら・ら・かんら	はたらくための日本語講座	① 地域おこし協力隊員
	3月1日(日)		甘楽町公民館		②
	3月15日(日)		ら・ら・かんら		③
	4月19日(日)				④ (公財)甘楽町国際交流振興協会役員
	5月17日(日)				⑤
	6月21日(日)				⑥
生活に役立つ基本講座 (随時開催)	3月8日(日)	午前10時~正午	甘楽町公民館	ごみの出し方講座	住民課環境係 富岡警察署
	未定			税金講座	住民課税務係 富岡税務署
	未定			防災講座	総務課庶務係

地域での取り組み

富岡警察署(萩原義征署長)に事務局を置く富岡・甘楽国際コミュニケーション連絡会(高田稜治会長)は、管内で働く外国人労働者が、安全で安心な生活を送り、地域住民との良好な関係を築けるよう支援活動を行っています。

今年度は、1月25日に富岡警察署で書き初め大会が行われました。甘楽町からは(株)柴田合成とNSカンラ(株)で働く若い外国人労働者が参加し、「二期一会」や会社の名前、好きな日本語を書いて、日本の書道に触れました。



書き初め大会に参加した皆さん

困ったときの相談窓口

生活や仕事のことなどの悩みごとがあれば気軽に相談できます。外国人を受け入れている事業者などからの相談も受け付けています。

ぐんま外国人総合相談 ワンストップセンター

場所 群馬県庁昭和庁舎1階
(前橋市大手町1-1-1)

時間 午前9時~午後5時
(土日、祝日、年末年始を除く)

電話 027(289)8275

対応言語	相談日
英語・ベトナム語	月~金
ポルトガル語	月・火・水
中国語・スペイン語	月・火・木・金